健康診断に対する補助の取り扱い

2020 年度[2020 年 4 月 1 日受診分]より生活習慣病予防健診および人間ドック受診時において、基本項目である「上部消化管検査の胃 X 線検査（胃バリウム検査）」を省略した場合（胃カメラ検査へ変更した場合を除く）は、理由の如何にかかわらず、定期健康診断 A 健診の補助支給を適用することとなりました。

取り扱いにつきましては、以下 Q&A のとおりとなりますので、ご確認をお願いいたします。

2020.3.16

Q. 生活習慣病予防健診を受診しようと考えているが、生活習慣病予防健診の基本項目である「上部消化管検査の胃 X 線検査（バリウム検査）」を受けたくない、または受けられない場合、どうすればよいのでしょうか。

A. 以下の選択肢 A～C のいずれかを選択して健康診断を受けていただくことになります。

・選択肢 A　基本項目に「上部消化管検査の胃 X 線検査（胃バリウム検査）」が含まれない定期健康診断 A 健診を受診する。

この時の組合補助は定期健康診断 A 健診に対する補助を適用します。

・選択肢 B　上部消化管検査の「胃 X 線検査（胃バリウム検査）」を「胃内視鏡検査（カメラ検査）」へ変更して生活習慣病予防健診を受診する。

この時の組合補助は生活習慣病予防健診に対する補助を適用します。
胃カメラ検査への切替差額は全額自己負担となります。
ただし、設備上等の問題により胃カメラ検査へ変更できない健診機関があるので確認が必要です。

・選択肢 C　上部消化管検査の「胃 X 線検査（胃バリウム検査）」も「胃内視鏡検査（胃カメラ検査）」も受けないが、生活習慣病予防健診を受診する。

この時の組合補助は定期健康診断 A 健診に対する補助を適用します。

☞ 次頁に参考「例」を載せています。

「例」　以下の「委託☆☆☆医療機関」で上部消化管検査の胃 X 線検査（胃バリウム検査）を省略した生活習慣病予防健診の受診を考えている場合。

委託☆☆☆医療機関の健診料　※胃カメラ検査設備あり施設

	税抜健診料	税込健診料	受診者負担	組合補助
定期健康診断 A 健診	8,000 円	8,800 円	(ア) 5,500 円	(イ) 3,300 円
生活習慣病予防健診	20,000 円	(キ) 22,000 円	(ウ) 3,300 円	(エ) 18,700 円
オプション検査 胃カメラ検査へ切替差額	5,000 円	5,500 円	(オ) 5,500 円	(カ) 0 円

前頁記載のとおり選択肢 A～C のいずれかを選択し受診していただきます。

この場合の受診者負担は以下のとおりです。

※胃 X 線検査省略と胃カメラ検査へ変更とでは取り扱いが異なります。

・選択肢 A を選択した場合

定健 A 健診料 8,800 円 ― 組合補助　3,300 円（表のイ）
　　受診者負担　5,500 円（表のア）

・選択肢 B を選択した場合　※胃カメラ検査へ変更した場合

生活習慣病予防健診料 22,000 円＋胃カメラ切替差額 5,500 円＝27,500 円
- 組合補助　18,700 円（表のエ）
- **受診者負担**　3,300 円（表のウ）＋5,500 円（表のオ）＝ **8,800 円**

・選択肢 C を選択した場合　※胃 X 線検査を省略（胃カメラ検査への変更もなし）

生活習慣病予防健診料 22,000 円
- 組合補助…　3,300 円（表のイ）
- **受診者負担**…　22,000 円（表のキ）－3,300 円（表のイ）＝**18,700 円**